

「日本再生の17ヶ条」

- 01. 誇りある地域 個性豊かな地域自治体が多極的、重層的、分散的に共存する国家への道程を示す。
- 02. 幸福な経済成長 GDPの数字にとらわれず、多様な指標に従って国民の幸福が最大化されるような経済成長のための戦略を策定する。
- 03. 文化のある生活 世界に誇れる独自性のある日本文化を振興し、それを国民にとっていっそう身近なものとする政策手段を提案する。
- 04. 活力ある教育 文部科学省を頂点とする集権的な仕組みを改め、地域の多様性を反映しつつ、日本人としての一体性を損なわない新しい教育のパラダイム構築を目指す。
- 05. 多軸の国家像 東京を中心とする集権的な国家の秩序を改めるべく、移動する首都や分都など、さまざまな可能性を模索する。
- 06. 地域の記憶の尊重 旧地名の併記、地域史の保存、オーラル・ヒストリーの推進など、人々の生活にまつわる記憶を保存し、将来世代に伝えるための取り組みを推進する。
- 07. エネルギー文明の転換 大量生産大量消費から、「足るを知る」地産地消へ質の転換を目指し、エネルギーにまつわる新しい価値観を打ち立てる。
- 08. 新しい都市美 自然美と人工美の調和した街づくり に繋がる都市計画の哲学を考案する。
- 09. 風土の再生 農林水産業を振興し、食糧自給率の向上と生態系の多様性を両立させる。
- 10. 円熟社会への移行 地域に長く根を下ろしている各種の「祭」など、世代間の連続性をもたらす伝統行事に、単なる高齢化福祉に価値を加える文化ソフトとしての位置づけを与える。
- 11. 官民の新パートナーシップ 依然として根強い官尊民卑、官依存の文化を改めるための施策を組み立てる。
- 12. 自立的な沖縄 アジア海洋世界の中心だった琉球弧 に、新たにアジアの通商・金融・娯楽のハブとしての役割を持たせる戦略を立案する。
- 13. 住まいの豊かさ 住宅ストックの量のみならず、より快適な生活を住宅のハードとソフトの両面から見直すことで実現する方法を提案する。
- 14. 新財政戦略 財政危機が叫ばれる中で行政サービスの質を落とさず、地域社会の活力も奪わないような、新しい政府の資金調達の方法を案出する。
- 15. 広義安全保障 従来のならず者国家などの脅威に加えて、グローバル犯罪や天災、感染症など、多国間の協力を要する脅威への対処の戦略を立案する。
- 16. 東アジア地域の安全の要 日米同盟を深化させつつ、近隣諸国との対話をより実質的なものとするべく、日本という国の立ち位置を明確にする。
- 17. 平和憲法の再検討 すでに70年近く存続している 戦後憲法だが、真の自主憲法を実現するために、その実効性を検証し、あらゆる可能性を討議。